



小笠原で暮らすイルカたち

「すれ違い」

25号のイルカ通信で、親離れしたのではないかとご紹介したミナミハンドウイルカの親子（#55と#118）ですが、8月の調査でも別々の群に居るのが確認されました。8月3日の調査では母親は7頭連れの群の中に、子どもは別の3頭連れの群の中にいました。でも、この時のお互いの距離は1kmほどしか離れていませんでした。いくら親離れしたといっても、同じ小笠原の海域内に住んでいるので、このように近くをすれ違ったり、時には同じ群に居合わせたりすることもあるのでしょう。



「嫁に来ないか」

イルカ調査隊が聳島列島の調査に行く時に会うのを楽しみにしているイルカがいます。口元に特徴があるミカワ（#173）と呼んでいるイルカで、これまで聳島列島の嫁島でしか確認されていないイルカなのですが、嫁島に行くと必ずと言っていいほどお目にかかるイルカです。今年も7月21日と8月30日の調査時に確認することができました。このイルカは一昨年秋に親離れしたと推測される若いメスのイルカです。小笠原のミナミハンドウイルカは小笠原群島（聳島～父島～母島列島）間を移動することが知られていますが、このミカワのように特定の列島でしか確認されていない個体もいます。性別や成長段階、個体差によって移動範囲などに違いがあることも考えられるので、今後もミカワの行動に注目していきたいと考えています。



まだまだ暑い小笠原だから・・・

日焼け対策を忘れないでね！



楽しいドルフィンスイムに夢中！
でも、こまめに日焼け止めクリームを塗ってね。
イルカや海にやさしい無添加のものがgood！



ラッシュガードを1枚持っているとお日焼け防止、
クラゲや毒さから守ってくれて重宝しますよ。

